

知らない犬に遭ったらどうするか

野犬や飼い主がいない犬に出会った時、悪意はなくても知らないうちに犬を驚かせてしまったり、怖がらせてしまうことがあります。また、普段は穏やかな性格の犬でも、私たちの何気ない動作で急に攻撃的になってしまふ場合があります。咬傷事故など万一の事故を未然に防ぐため、飼い主がそばにいない犬やはじめての犬に接するときのマナーを家族みんなでよく話し合っておきましょう。

○知らない犬にあったときにしてはいけないこと。



○知らない犬をさわったり

抱いたりしてはいけません。

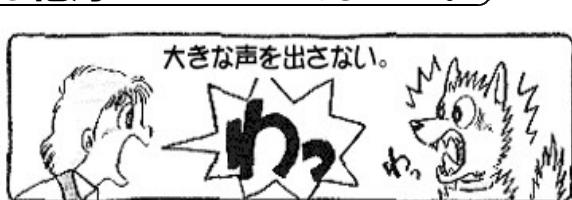
犬たちは、知らない人からいきなり背中や頭などをさわると攻撃されたと思い、噛みつくことがあります。

たとえ、おとなしそうに見えても知らない犬や飼い主がいない犬をさわってはいけません。

○知らない犬に近づいて、次の三つのことをしてはいけません。

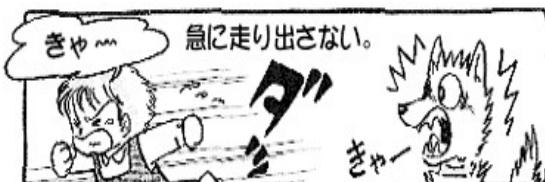
「急に大きな声をだす。」

いきなり犬の前で大きな声を出すと、犬はびっくりして攻撃してくることがあります。



「急にかけよる。」

いきなり犬にかけよると、犬はびっくりして攻撃してくることがあります。



「急に走りだす。」

急に走りだすと、犬は本能的に獲物と思って追いかけてくることがあります。

○知らない犬が近づいてきた時は、無視するかポストになりましょう。

知らない犬の前で、さわいだり・大きな声を出したりすると、犬はますます近づいてきます。そんな時は、犬を見ないで知らんぷりするか、じっと立っていましょう。

絶対に犬にむかって石をなげたり、走って逃げたりしてはいけません。



犬を見ないで、
知らんぷりをし
ながら、
ゆっくりと通りす
ぎましょう

犬と目を合わせず
に、
手を体の横にぴった
りとつけて、
ポストのようにじっ
と立っていましょう

